

東京教組 青年部 学習会・フィールドワーク（人権）

『ぼく、いいもの いっぱい ～日本語で学ぶ子どもたち～』 外国に ルーツをもつ こどもとともに

外国にルーツのあるお子さんがいたときに“どうやってコミュニケーションをとったらいいんだろう？”“一緒に学ぶにはどうしたらいいんだろう？”と悩んでいませんか？日本語学級について知っていますか？日本にいる外国の方の思いを考えたことはありますか？長年、日本語学級で外国にルーツをもつお子さんにかかわってきた善元さんから実践をうかがい、多様なこどもたちと学ぶことについて考えます。

日時： 1月20日（土）14:30～16:30

その後、講師の善元さんのガイドで新大久保のまちを歩く
フィールドワークをします。フィールドワークのあとは、
本場韓国料理を食べに行きます♪

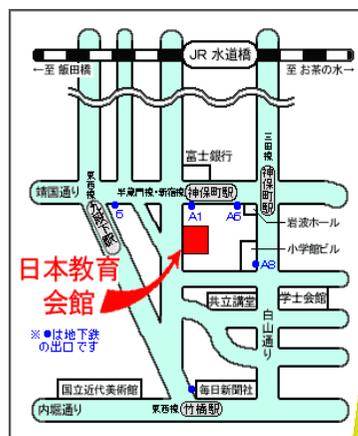
場所： 東京教組会議室（日本教育会館2階）
東京メトロ半蔵門線・都営新宿線・都営三田線／神保町駅（出口A1）

講師： ^{よしもと} 善元 ^{ゆきお} 幸夫さん

1973年、東京学芸大学教育学部卒業後、東京・江戸川区立葛西小学校で中国・韓国からの残留孤児2世のための日本語学級に14年勤務する。1995年、「日韓合同授業研究会」を作り、日本・韓国・中国の国際交流研究会を開催。2003年には、東京・新宿区立大久保小学校日本語国際学級を担当。2010年退職し、その後、琉球大学、東京学芸大学、目白大学などで国際協力論、外国人教育論などを担当する。韓国にルーツをもつ子どもの学習支援「チャプチョの会」会長。南米教師のための日本語教師（JALICA横浜）なども担当している。

お問い合わせは、東京教組まで

Mail：ttu@tokyokyouso.org TEL：03-5276-1311 Fax：03-5276-1312



精一杯表現する日本語学級の子どもの作文や詩を紹介。いじめ、孤独、友情の中でたくましく育つ姿と、それを見守る教師の日常を描く 善本さんの本です。